

## 橋下市長は労働組合への権利侵害をやめろ！

＝労働者の権利侵害とたたかう闘争本部＝

5月15日、大阪労連・労働者の権利侵害とたたかう闘争本部は淀屋橋で宣伝行動を行いました。雨の中の行動となりましたが、5単産、市地区協から35人の参加がありました。

はじめに川辺大阪労連議長から訴えがおこなわれました。弁士に立った、民間部会の長島部会長（建交労委員長）、坂本副部会長（国労大阪委員長）、矢野市地区協事務局長、そして、自治労連の大原副委員長、荒田書記長、田所市労組書記長からは、「労働組合への権利侵害を許すな」、「憲法と民主主義を守れ」、「市民の暮らしを破壊する市政改革プラン（素案）を撤回しろ」など、訴えが行われました。



## 泉州の地域医療を守れ！

～泉州の地域医療を守る会～

4月28日、泉州の地域医療を守る会第2回総会が泉佐野市で40名の参加で開催されました。耳原総合病院副院長の田端志郎氏から「大阪の救急医療について」と題して記念講演がおこなわれました。具体的な大阪の救急医療の問題点が数値やグラフなどでわかりやすく示され、「救急医療崩壊は、日本の高齢化社会進行に伴いさらに進んでゆく可能性が高いこと」「救命救急センターの充実だけでは救急医療は成り立たないこと」「救急部門には、社会的に困難な人々が多く受診していること」「医療側と住民側が協力し、国の医療政策を変えてゆく必要があ

ること」の4点を知って、共に救急医療を守る運動を行いましょと呼び掛けられました。

総会后、「りんくうタウン駅」前で約1時間の署名宣伝行動を行い、14名の参加で、67筆が集まりました。





# 労働者への権利侵害を止めろ！

## 大阪からすべての争議をなくそう！

5・10 大阪争議支援総行動

5月10日、不当な解雇や権利侵害、労働組合への攻撃に対して、大阪でたたかわれているすべての争議の解決に向け、5・10争議支援総行動がとりくまれました。

早朝、淀屋橋と裁判所前で宣伝行動がとりくまれました。争議をたたかう仲間から、職場へ向かう働く仲間に訴えました。続いて、労働組合への攻撃、職員への権利侵害を強める大阪市役所南の女神像前で一日の行動を意思統一するスタート集会を成功させました。大阪運輸振興をはじめ12ヶ所の企業や背景資本などへの要請・抗議に2班に分かれ行いました。最後のダイキン前要請行動まで、終日のべ500人が元気に行動しました。



↑スタート集会では1日の行動の意思統一



# 政府は原発をゼロにしろ！関電は大飯原発の再稼働をするな！

全労連・近畿ブロック 大飯原発再稼働反対！5・11 緊急行動

5月11日に全労連近畿ブロックが主催する「大飯原発再稼働反対！5・11 緊急行動」が行われ、150人が参加しました。

これは、全国で50基ある原発がすべて運転を停止し、一日も早く原発からの撤退を決断し、自然エネルギーや省エネルギーを柱に、エネルギー戦略を確立することが求められる中、政府や関電が、「原発稼働ゼロ」を抜け出すために大飯原発の再稼働にむけた動きに対して、緊急の行動としてとりくまれました。

デモ行進終了後、関西電力へ大飯原発の再稼働をおこなうな等の要請行動を行いました。

